

令和7年12月定例会

福祉環境委員会

部長説明要旨

令和7年12月16日(火)

第2委員会室

福祉保健部

福祉保健部長の吉野でございます。

委員の皆様方には、福祉保健医療行政の推進にあたりまして、日頃から格別の御指導を賜り、厚く御礼申し上げます。

初めに、ドクターヘリの運航について、御報告いたします。

運航委託事業者である学校法人ヒラタ学園の整備士不足により、10月から12月にかけ、各月5日程度の運航停止が発生し、停止期間中の出動要請については、相互応援協定に基づく近隣府県からの応援で対応することにより補っております。

県といたしましては、引き続きヒラタ学園に対し、安定した運航体制確立に向けた人員確保はもちろん、国に対しても人員確保や財政的支援を要請しているところです。

それでは、議案等の説明に先立ちまして、福祉保健部における最近の主な取組について御説明いたします。

まず、10月に岐阜県で開催された第37回全国健康福祉祭（ねんりんピック）におきましては、多数の県民の方々にご参加いただきました。

本祭典は、60歳以上の方々を中心としてあらゆる世代の人たちが楽しみ、交流を深めることができる、スポーツ、文化、健康と福祉の総合的な祭典でございます。

本県からは、スポーツや文化種目の交流大会に選手団118名が参加するとともに、美術展に10作品を出展いたしました。

また、11月には、能登半島地震を踏まえた災害時における和歌山県災害医療調整本部体制の機能強化のひとつとして、福祉保健部全課及び庁内関係課参加のもと、災害対応訓練を実

施しました。

この訓練では、災害時に設置する保健医療と福祉が一体となつた和歌山県保健医療福祉調整本部の運営プロセスを検証したもので、「保健医療」と「福祉」が連携した訓練として、初めて実施したものです。

引き続き、県民の生命、健康そして安心の確保に取り組んでまいります。

それでは、今議会に提出しております福祉保健部関係の議案について、御説明いたします。

まず、議案第146号「令和7年度和歌山県一般会計補正予算」につきましては、県人事委員会勧告に基づく職員の給与の改定に伴い、

「第3款 民生費」において、5,091万7千円の増額を、
「第4款 衛生費」において、5,096万円の増額をお願いしております。

※民生費、衛生費を合わせて1億187万7千円の増額

次に、議案第148号「令和7年度和歌山県立こころの医療センター事業会計補正予算」につきましては、同じく県人事委員会勧告に基づく職員の給与の改定に伴い、

3,078万3千円の増額をお願いしております。

次に、議案第170号「和歌山県視聴覚障害者情報提供施設（和歌山県点字図書館）の指定管理者の指定について」につきましては、指定管理者として、社会福祉法人和歌山県身体障害者連盟を指定するものでございます。

次に、議案第171号「和歌山県視聴覚障害者情報提供施設（和歌山県聴覚障害者情報センター）の指定管理者の指定について」につきましては、指定管理者として、一般社団法人和歌山県聴覚障害者協会を指定するものでございます。

続きまして、物価高対策及び医療・介護等従事者の処遇改善のために追加提案させていただいた補正予算について、御説明いたします。

議案第177号「令和7年度和歌山県一般会計補正予算」につきましては、

「第3款 民生費」において、34億194万4千円の増額を、
「第4款 衛生費」において、7億3,410万9千円の増額をお願いしております。

※民生費、衛生費を合わせて41億3,605万3千円の増額

内容といたしましては、

医療機関、薬局、介護施設、障害福祉サービス事業所等に対し、物価上昇への的確な対応や、物価を上回る賃上げの実現に向けた支援を行うほか、国の電気料金負担軽減支援の対象とならない特別高圧で受電する医療機関への支援を行うものでございます。

最後に、繰越明許費明細費（追加）について、主な内容を御説明いたします。

第3款「民生費」、第1項「社会福祉費」、
「障害者福祉振興」7億5,600万円及び
「介護保険指定事業者指導等」26億4,594万4千円

第4款「衛生費」、第4項「医薬費」、
「地域保健医療推進」6億2,144万4千円及び
「薬局等適合性調査」9,986万6千円につきましては、
事業者等からの補助金の申請期間等を考慮すると、年度内の事
業完了が困難であるため、繰越をお願いするものです。

以上で、私からの説明は終わらせていただきます。
御審議の程、何卒よろしくお願ひいたします。